

核兵器禁止条約発効、祝賀記念行動 原水協 SNS 臨時ニュース

2021年1月23日 山梨県原水協 事務局

核兵器禁止条約が発効された22日、県下では六市、168人の参加で祝賀記念行動が取り組みました。

甲府市では甲府駅南口に、県原水協の参加団体や総がかり行動実行委員会から約70人。マスコミも数社が取材。プラスターやのぼり、横断幕を持って、スタンディングや署名、団体の代表10名ほどで条約



発効を祝うなどアピールしました。それぞれが「唯一の被爆国日本政府が署名に応じないのは許せない、核兵器禁止条約を批准する政府をつくろう」と訴えました。最後に山梨合唱団のリードで、全員で「青い空は」を合唱。これからの運動を盛り上げる思いを固めあいました。

韮崎市では、11人が参加して韮崎駅前では早朝の通勤、通学客に核兵器禁止条約が発効したことをアピールしました。

北杜市では長坂きららシティ前で43人がスタンディング。須玉オギノ前では17人が参加してスタンディング。北杜市議会が政府への意見書採択をしたことも宣伝しました。

都留市では市内赤坂交差点で7人が参加したスタンディングを行いました。

甲州市では市内を宣伝カーを出動させ、5カ所でスタンディング宣伝、歩きながらアピールした人たちは政府に要求する署名10筆を集め、多くの市民に注目されました。

南アルプス市では、8人が自家用車や自宅玄関に『祝禁止条約発効』のステッカーを貼付してお祝いしました。